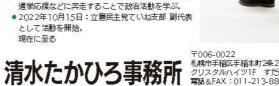
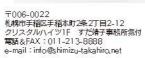
手稲から

私たちも応援



- 1975年(昭50)2月4日:斜里郡清里町で農業を 営む両親の長男として生まれる。高校卒業までスピ ードスケートと陸上競技で心身を鍛える。
- 1995年3月:北海道立農業大学校を卒業。翌1996 年3月より幅広い農業知識と国際的感覚を身につけ るためドイツ連邦共和国(ヘッセン州ノイホフ)に 1年間の農業留学。帰国後、本籍地で農業に従事。
- 2000年12月: 總曆
- ◆2008年9月:農業団体「北見地区農民連盟」の専 従職員として勤務。上京要請の際、各種法案の政策 立案には「政治の力」が深く関与していることを痛感。
- ●2018年4月:参議院議員 徳永 エリ北海道事務所 で公設秘書として勤務。 約4年半、北海道内各地で徳永議員に帯同し、地域 の多岐にわたる課題解決を中心に議員間の連携や
- ◆2022年10月15日:立憲民主党でいね支部 副代表 として活動を開始。 現在に至る





たかひろ

道政に チャレンジ!



RIKKEN MINSHU 2023年特別号 北海道第4区 ていね版

立意民主義維多 T102-0093 東京都千代江区平河町 2-12-4 &CENSF Tel. 03-6811-2301 Fax. 03-6811-2302 golben@cdp-japan.net http://odp-japan.jp/



地域をつなぐ現場 手稲 区からチ

います。 が直面して みなさん 生産者と の未来実現に向け 手稲区民のみなさん 農業経験者と て の声を道政に届けて 消費者の る様 々な課題にし 清水 と農村をむすび 0 たた なるため、 か ひろは、 と向き合 います。 手稲区

す決意です。

J

子育て世代が安心して暮らせる 元気なまち「ていね」

子ども医療費助成引き上げ、学校給食費の無償化。



- 保育士の待遇改善や増員による保育環境の充実改善。
 - 産前産後サポートや保健 師、児童福祉司の増員など の支援推進。

2

福祉・医療政策がすべての年齢層に対応する元気なまち「ていね」

- ●区民の健康をサポートする医療提供体制と介護体制の支援強化。
- ●住み慣れた手稲区でこの先も 暮らしていくための日常生活 の支援強化。(除排雪、買物、 交通手段支援など)
- 障がい者支援の充実と障が い者雇用の促進。



3

女性も男性もすべての年齢層に 働きがいのある 元気なまち「ていね」

- ワークライフバランスや男女共同参画 に基づく働きやすい職場環境づくり。
- ●地元産業の後継者対策やワーケーション事業など関係人口創出。
- 商店街や地元産業の活性化などを基軸とした起業支援。



自然の豊かさ、都市と農村をむ すぶ活力あふれる

元気なまち「ていね」

- 食の安全安心、地域をつなぐ食育・食農 教育などの取り組み推進。
- 風水雪害・地震など、あら ゆる災害に負けない防災・ 減災のまちづくり。
- 地域資源を活かし、社会 経済が循環する産業政策 の確立。

